

WEEKLY

週間メニュー

MENU



### 人と仕事

月曜日

MON

- 火 生活とマネー
- 水 いま、はやりもの
- 木 いきいき関西
- 金 リフレッシュ

カスタネット社長 植木 力さん(48)

# 仕事と社会貢献同時に

競技審判などのボランティア体験で得た充実感が忘れられず、「仕事と社会貢献を同時にできる企業」が作りたかったという。オフィス向け文房具の販売は、大手によるネット販売の急拡大で

転機となったのは、ある異業種交流会合。カンボジアでの学校教育振興のボランティア活動がある

そこで考えたのが、リサイクル利用の資源として1本50〜250円の値がつくプリンター用の使用済みカートリッジ回収だ。飛び込みの営業先でも事情を説明すると、たいいては快く不要カートリ

村で小学校の校舎新設にこぎつけるまで発展。この相乗効果に「これが21世紀のビジネススタイル」と胸をはる。

業界再編の嵐が吹き荒れていた。

その中で中小企業や個人事業者が求めているのは、価格の安さ以上にきめ細かな対応や柔軟性と人間づきあいだと読んだ。現代版の「御用聞き」を目指したが、当初は知名度の低さに苦戦した。

に文房具を送る慈善活動を企画したのだ。市民に協力を募ると、たちまち事務所が埋もれるほどの文房具類が各地から集まった。

ツツを提供してもらえ。さらにおうという客が増え、売り上げも急増。宣伝は一切せず、社会貢献活動だけを語る独特の営業スタイルで門前払いは激減し、会社は3期目に黒字化を果たした。

「次の社会貢献の目標はカンボジアに小児用病棟をつくること。本業では京都のベンチャービジネス活性化に力を入れますよ」

社会貢献活動も16年に、カンボジア中部の農

(山田桂子)

「ベンチャー企業と社会貢献の両立なんて成功しないよ」。と企画した文房具通信販売会社「カスタネット」が平成13年、大日本スクリーン製造の社内ベンチャー第1号に選ばれたとき、友人は口をそろえて止めたという。

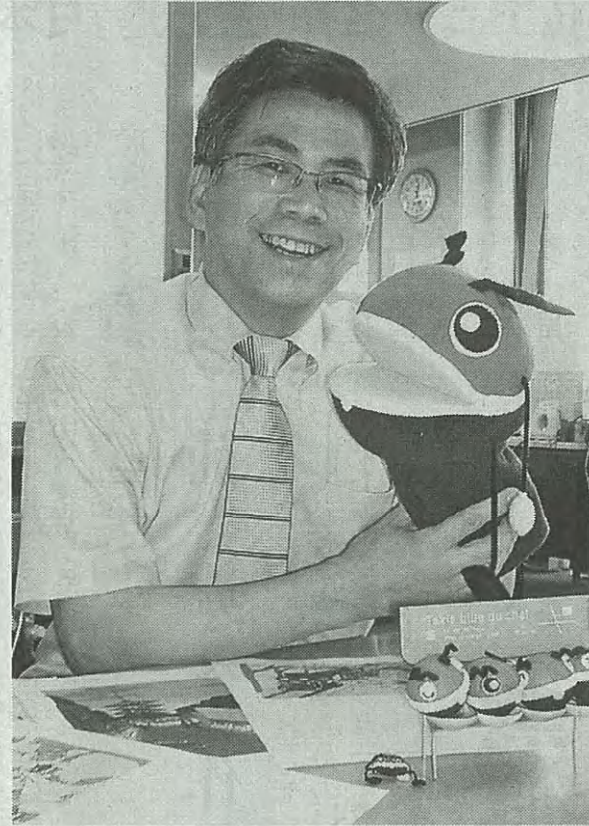
「でも僕は、社会貢献こそ、小さな会社にとって大きな付加価値になると思うんですよ」

「ところが発送のことをすっかり忘れていた。赤字で、配送費が捻出できなかったんですよ」

「社会貢献活動も16年に、カンボジア中部の農

「カスタネット」が設立したのは、平成13年、文房具通信販売への寄贈をきっかけに、カンボジアでの子供たちを支援する活動だ。社名の「カスタネット」は、子供たちの笑顔が響くようにと、カスタネットという響きを選んだ。

高校卒業後、自衛隊勤務を経て入社した大日本スクリーンでは工場の購買や企画畑などを歩んだ。昇進試験に挑み、高卒・途中入社としては異例の課長職にまで出世した直後の独立宣言は自分の思い描く企業像実現の第一歩だった。長年続けてきた視覚障害者の卓球



うえき・ちから  
京都府宮津市出身。航空自衛隊を  
経て、大日本スクリーン製造に入社。13年、文房具通信販売への寄贈をきっかけに、カンボジアでの子供たちを支援する活動だ。社名の「カスタネット」は、子供たちの笑顔が響くようにと、カスタネットという響きを選んだ。

## 先行

